



小笠原諸島～伊豆諸島 ツバメの渡り調査

申請者：重原美智子(小笠原諸島～伊豆諸島ツバメの渡りネットワーク)

太平洋の大海原を渡るツバメの生態を調べます



■ はじめに ■

小笠原諸島～伊豆諸島では、春も秋も渡りの時期にツバメが観察されますが
そのツバメたちは、越冬地と繁殖地を行き来しているのかどうかは
明確ではありません。

■ 目的 ■

「小笠原諸島～伊豆諸島 ツバメの渡りネットワーク」をつうじて
参加者が協力して調査をし、観察事例を集め、
太平洋の島々で観察されるツバメの渡りの生態を少しでも明らかにする。





■ 小笠原諸島と伊豆諸島のツバメ ■

申請者は小笠原と八丈島で2016年2017年の2年間の春の渡りの時期に、9日間、のべ14カ所でツバメの観察をし、その羽数と時刻を調べました。

小笠原ではツバメは越冬していないので、これらのツバメたちは太平洋の大海原をこえて飛来してきたことだけは確かです。

けれども、その生態はほとんどわかっていません。どこで越冬し、どのようなルートで小笠原へ飛来したのか？繁殖地と越冬地を往復する渡りをしているだろうか？また、伊豆諸島で観察されるツバメとはどのような関係なのだろうか？

「小笠原諸島～伊豆諸島 ■ ツバメの渡りネットワーク」を つうじて調査をします

そこで、ツバメを観察するネットワークをつくり、それぞれの島に住んでいる方や、調査者が協力して観察を行えば、小笠原諸島と伊豆諸島のツバメの渡りの様子がわかるのではないかと考え、2017年の秋に『小笠原諸島～伊豆諸島 ツバメの渡りネットワーク』をスタートさせました。

前調査として他の研究者のかたの観察記録や過去の文献などを調べています。2018年以降は、島に住んでいらっしゃるかたや、研究者、バードウォッチャーのかたたちと協力し、それぞれの島でのツバメ飛来の初認日や羽数などの新しい観察事例をできるだけ多く集めます。これらの記録からは、春には島々を北上し、秋には南下していくツバメたちの渡りの様子が見えてくるかもしれません。過去の記録も参考に、太平洋のツバメたちの渡りの生態を少しでもあきらかにしたいです。途中経過は日本鳥学会などで発表する予定です。

